

ブナの里

周りの木々が色づきブナの葉が黄色くなり始めた黒松内町ブナの小道の風景

黒松内町ブナセンター 学芸員 齋藤 均 撮影

- ◇ 2021年度上半期事業計画進捗状況 P2, 3
- ◇ 黒松内つくし園の社会貢献事業と取り組み P4, 5
- ◇ 2021法人行事・敬老会特集 P6~9

2021年度

法人事業計画に対する

上半期進捗状況

本年度は、新たな中期事業計画・事業方針のもと、法人全体で中長期的なビジョンを共有して運営を行っています。また、

6月の役員改選により新たな評議員・理事を迎え、様々な経営課題に取り組んでまいります。

そして、地域福祉の向上のために、社会福祉法人としての役割と使命を果たすため、役員一丸となって事業運営に取り組んでいくところです。

新型コロナウイルス感染拡大の終息が見通せない中、医療・福祉施設の現場は依然厳しい状況において、日々奮闘しています。当法人でも感染対策の徹底を継続しながら、倫理綱領のもと使命感を持って利用者の生命と生活を守るため、さらに役員一丸となって取り組んでまいります。

こうした中、当法人における2021年度上半期の取り組み

は、概ね事業計画に沿って進められています。その主な内容を以下に報告します。

○事業方針

＊法人基本理念・倫理綱領に沿った事業展開を行う。

＊利用者・職員・地域住民の幸せを実現するため事業を行う。

＊法人一体経営へ向けた取り組みや本部機能の強化をさらに推進する。

＊法人事業の再編を継続し、健全経営に向けた事業再構築を行う。

＊中長期事業方針と将来的なビジョンを法人全体で共有して事業を行う。

○事業実施計画進捗状況

(1) サービスの質の向上

・内部・監事監査で利用者サービス計画の整備状況を確認。各施設のサービス計画は概ね適正に実施されている。

・今年度4月より苦情解決委員会の体制を変更。苦情解決委員会委員長の三坂司氏が退任され、新たに古谷智佐子氏が就任。

・リスクマネジメント委員会で各施設の災害時業務継続計画（BCP）を更新。法人内で災害時のマニュアル・対策等の共有化を図っている。

・虐待防止の徹底と事業所間の情報共有、発生件数ゼロに向けて、研修や職員への啓発等の取り組みを継続。

・新型コロナウイルス感染拡大の中、施設内での感染症対策を継続。4月から高齢者施設利用者・職員のワクチン接種を積極的に進め、7月には障がい・児童施設でも開始。9月には、ほぼ全ての対象者へのワクチン接種が完了。

(2) 中長期ビジョンへ向けた取り組み

・2021年度予算の進捗状況の管理を強化し、2期連続黒字化達成への取り組みを実施。四半期ごとの資金収支ヒヤリングに加え、経営会議で施設整備計画や各拠点経営状況の分析・判断をスピーディーに行い、様々な課題とさらなる事業再編に取り組んでいる。

・改訂した5ヶ年中期事業計画のもと、さらに具体的な中長期ビジョンの策定へ向けて経営会議で検討中。

・毎週定期的に開催している経営会議にて、様々な経営課題等を検討し、常勤役員・法人本部事務局で共有を図っている。

・児童養護施設の小規模化への対応として、黒松内つくし園で2021年度定員を75名に減少した。

・旧緑ヶ丘ハイツ建物の有効活用を検討したが、老朽化が著しく改修費用が巨額なため解体する方向で検討中。

・法人の積立資産の資金運用を検討し、証券会社を介した有効活用方法を決定。

(3) 法人事業の再構築

・倶知安地区では、前年度事業再編で「ありか」土地建物を売却し2事業所体制としたことにより、効率運営・事業集中化をさらに推進。事務部門においても、複合施設に集約して、事務作業の効率化・集中化、業務効率アップへの取り組みを進めている。

・緑ヶ丘ハイツでは、年度当初利用者数が67名と以前厳しい状

況。職員確保を強化し入所利用者数増加を早急に実施するよう、施設幹部職員への周知・理解を進め対策を強化。

・緑ヶ丘老人ホームでは、特定施設入居者生活介護事業の加算体系変更を行い、介護保険収入が増加する結果となった。

・6月の役員改選により、大代理事長を再任。理事7名・監事2名・評議員9名を選任し、新たな体制で法人運営をスタートした。また、役員等の報酬等支給規程を改訂し、非常勤役員・評議員報酬を月額報酬とした。

(4) 人材確保と職員育成

・人材確保では、4月新卒採用6名でスタート。9月末までで17名の中途採用があり、22名が退職となった(9月30日現在職員数515名)。

・人材センターと法人本部人事部門による職場ガイダンス、オンライン面接への取り組みを強化し、新卒者・中途採用者の確保を図っている。9月末現在、2022年4月採用者は3名(大卒2名・高卒1名)で、うち1名がマイナビサイトからの採用となっている。

・新型コロナウイルス禍で採用活動は難

しい中、マイナビ中途採用向けサイトの活用を検討実施した。また、マイナビサイト上にブログを掲載し、法人の取り組みや行事等の情報発信を積極的にを行っている。

・外国人介護人材の確保として、ベトナム人技能実習生3期生10名の採用を内定。コロナ禍のため入国できていないが、入国制限が解除され次第、雇用開始となる予定。特定技能カンボジア人は3名の採用を予定。9月カンボジア大学卒業者の面接を実施予定。

・コロナ禍で職員の研修参加が難しい中、WEB研修システムを活用し、各施設・職員がオンラインにて研修を受講してスキルアップに繋げている。

(5) 職員の待遇改善への取り組み

・処遇改善手当・特定処遇改善手当支給の支給を実施。昨年度と同額の手当支給を行うこととして、現場職員の待遇改善への取り組みを継続実施。

・適切な労務管理と業務・労働環境改善へ向けて、勤怠管理システムの稼働を各事業所で実施して取り組んでいる。

・湯の里・黒松内で介護ロボッ

ト導入事業の実施を決定。職員の負担軽減と利用者サービス向上への取り組みをさらに検討・実施する。

(6) 法人本部機能強化の推進

・内部統制のための規程整備・仕組みづくり等をさらに推進。内部委員会・会議等の統廃合や体制変更等を実施し、組織規程別表を更新した。

・法人人事・給与システムの運用一本化へ向けて、本年度から勤怠管理システムの本格的な導入・運用を開始。事業所による勤怠管理・集計の試行を行い、細部での調整等を行っている。

・法人内情報系システムを契約更新し、クラウド版に移行。規程と法人内ルール・各事務様式の提供の他、電子稟議等の活用方法の検討を進めている。

・法人本部機能強化の推進として、人事・財務・総務各部門で業務改善の取り組みを強化。

・内部監査を実施し法人・各施設事業進捗状況や内部統制プロセス等の点検を行い、監事監査にて適切に報告。

(7) 地域貢献事業の推進

・配食サービス・奨学金支給等は継続。奨学金5万円を町内高

校生20名に支給。希望者不在のため外国人留学生への支給はなし。

・各施設の行事等は、感染対策を強化して利用者のみ参加で実施している。

・保育園児童送迎の試行運転を5月まで行い、父兄や町教育委員会・社協等と検討を重ねた結果、7月より社会貢献事業として、町内の通園困難世帯に向けて本運行をスタート。運転手を採用し、同乗は黒松内町社協ボランティアに委託。平日の毎日朝夕2回送迎を実施している。

・黒松内保育園の新規社会貢献事業として、子育て一時預かりサービス「さんさんルーム」を4月より開設。保育園に入園していない児童の家庭と、教育で入所している家庭が対象で、保護者が短期間の保育が必要な時に利用できるサービスとして、通院等で子どもを預ける際などに利用されている。

・慶和園在宅要介護者受入事業は、整備事業を完了して体制を整え、北海道の要請により事業を行う(9月末現在未実施)

黒松内保育園で園児の 送迎サービスをスタート

認定こども園黒松内保育園では、町内の遠方で通園が困難な世帯や保護者の出産前後などにより送迎が困難な世帯を対象に、社会貢献事業として通園の送迎サービスを開始しました。



遠方地区の要望により今年3月から5月まで試行運転をスタート。試行運転後に、保育園に通園している全家庭にアンケートを行い、送迎に対する意見や送迎の利用希望を確認しました。その上で、法人の社会貢献事業として実施することを決定し、

7月1日より本格的に始動しました。専属運転手を採用し、黒松内町社会福祉協議会の協力を得て、見守りボランティアとして6名の方が交代で乗車しています。送迎料金は、1日の利用で100円と設定して行っています。

送迎車両には利用年齢に合わせたチャイルドシートを取り付けており、送迎時には子ども好きな音楽をかけてボランティアが見守り、安心した雰囲気の中で過ごしています。



黒松内保育園預かり保育サービス「さんさんルーム」開設

認定こども園黒松内保育園では今年度より、お子さんを一時的にお預かりする「子育て一時

預かりサービス「さんさんルーム」を4月より行っています。保育園に入園していないお子



さんが短時間や短期間保育園へ預けることが必要な時に利用して頂くサービスです。



預かりサービス「さんさんルーム」を4月より行っています。保育園に入園していないお子さんが短時間や短期間保育園へ預けることが必要な時に利用して頂くサービスです。

今年も神社境内清掃 緑ヶ丘老人ホーム

毎年行っております、大鳥神社の境内清掃。地域貢献の一環として緑ヶ丘老人ホーム開設以来続けて参りました。毎年、参加を楽しみにされている利用者もいますが、残念ながら今年は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出を受け、職員のみで行いました。また、



清掃後に神社は社に手を合わせ、皆様様の健康と長寿を祈願して参りました。

慶和園で「働きやすい職場づくり」を推進

慶和園では、今年度「働きやすい職場づくり（心の健康づくり計画）」の取り組みを行っています。

第1弾として、安全衛生委員会による「職員の健康づくりカレンダー」を作成しました。メンバーが意見をだし、合って、各月ごとに定めたテーマに沿って、職員の健康増進のためのイラストやメッセージを添えて完成させました。完成したカレンダーを園内の各所に掲示・周知しています。



第2弾として、管理職を対象とした「メンタルヘルス勉強会」を開催しました。

北海道産業保健支援センターメンタルヘルス対策促進員山岸氏を講師に迎え、WEBによる



研修を当園副主任以上の職員8名が受講。メンタルヘルスの理解とラインケア（上司の部下への相談支援）の進め方を中心に理解を深めました。

受講者からは、話を聴くことや気持ちを引き出す質問の大切

さなど部下と関わりを改めて見直すこと

などの感想が寄せられました

たとの感想が寄せられました



た。

そして、8月には職員休憩室のリニューアル工事を行いました。これまでは、手狭で暗いイメージのあった休憩室でしたが、隣の部屋との壁を取り壊し、不要な洗面台やトイレを撤去。壁紙クロスもリニューアルしたことで、広く明るいスペース生まれ変わりました。「できれば靴を脱いで、足を延ばしてゆっくり休みたい」との意見を採用し、リラククスして休める雰囲気づくりに工夫をこらしました。良い仕事を成し遂げるためには、しっかりと休憩を取ることにも必要です。

働きやすい環境は、各職員の心と体の健康から！慶和園では、働きやすい職場づくりの取り組みを今後も継続して進めていきたいと思います。

後志リハビリセンターで学習会報告

職員のスキルアップを目的に、毎月リハビリセンターでは学習会を開催しています。今年度は口腔衛生管理体制を整え、口腔ケアへの見識を高めるために、



毎月ブナの森レインボー歯科クリニックの茂尾先生を講師としてお招きしています。口腔ケアの基礎知識について、疑問や困っている点などへの助言、口腔ケアアセスメント作成のための指導をしていただいております。貴重な学



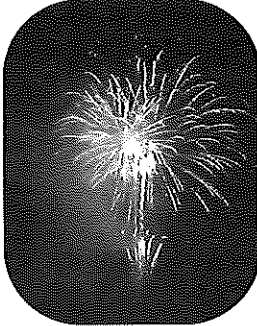
びの機会とさせていただきます。今後も見識・技術を高め口腔ケアでも「プロ」を目指します！

各施設行事特集

老人福祉施設 慶和園

8月4日、慶和園で「ふれあいの夕べ」を開催しました。

今年も昨年に引き続き規模を縮小して行いましたが、利用者ご家族やボランティアの皆様にご参加いただいたことで、利用者はお祭りムードを堪能しました。参加者は焼き鳥・焼きそば・たこ焼きなどの屋台や大抽選会、盆踊りを楽しみました



当日の夜には、恒例の花火大会を開催。夏の夜空に浮かんだ大迫力の花火に、利用者からも大きな歓声があがりました。



黒松内保育園「七夕まつり」

7月7日、子ども達を楽しみにしていた七夕まつりを開催。今年も、ぱんだ組とこあら組が法被を着て、小さいクラスの友達のお世話をしながら「いらっしゃい！」と一生懸命お店の売り手役をしました。子ども達のにぎやかな楽しさと盆踊りの太鼓の音が遊戯室いっぱいに響いた時となりました。



しりべし学園成人寮「秋の交流会」

9月26日、第4回目「秋の交流会」が体育館にて行われました。感染対策としてしりべし学園、成人寮の男女それぞれの時間を分けての開催となったため、各棟利用者間の交流をすることはできませんでしたが、皆さんゲートボール、玉入れの2つの競技に笑顔で参加され、楽しんでいる様子でした。利用者が無理なくできる競技を企画したため、以前行われていた運動会を思い出す方もいました。



また、昼食には唐揚げなどのオードブルと、長万部町名物「かにめし」を提供しました。あまり食べる機会のないお弁当だったこともあり、「おいしかった」「珍しかった」などの感想を頂きました。

今回の交流会で見られた皆さんの笑顔をまた見られるよう、職員一同、利用者の支援に精一杯取り組んで参ります。



後志リハビリセンター 七夕夏祭り

8月9日に夏の一大イベント七夕夏祭りを開催しました。コロナ禍で外出行事が自粛となっている中で利用者楽しんで貰えるよう、担当職員を中心に催し物や縁日風の食事を提供しました。利用者の素敵な笑顔が溢れる1日となりました。



2021年度 法人

緑ヶ丘老人ホーム 味の園遊会

昨年に続き、今年も中庭での開催となりました。コロナ禍でなかなか思うように行事も出来ませんが、年に一度の一大行事。当日はお天気にも恵まれ、炭火での焼き鳥や焼ホタテ。かき氷にケーキバイキング等といつもと違う雰囲気提供。カラオケの余興を楽しみながら、太陽のもと、秋を感じつつ皆様の笑顔あふれる楽しいひと時となりました。来年こそはサービスとの交流会も兼ね、賑やかに開催できることを期待しています。

交流会も兼ね、賑やかに開催できることを期待しています。



秋の味覚「やきいも」を満喫 黒松内つくし園

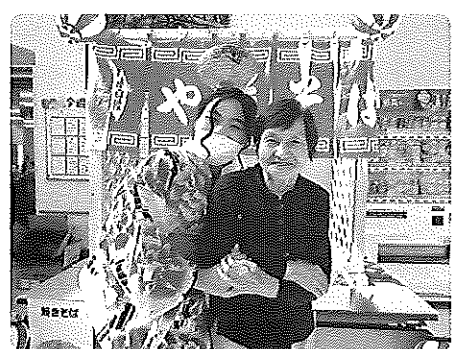
9月18日、つくし園子ども会主催のやきいもを行いました。秋と言えば…そうですね食欲の秋です。今回は希望者を募り、やきいもを中庭で行いました。さつまいもを濡れた新聞とアルミホイルで包んで炭の中に入れ焦げないよう何度もひっくり返して作りました。さつまいもだけでなく、ジャガイモやナス、トマト、マシュマロなども焼いて食べました。出来上がったやきいもは、ホクホクに焼けたものやちょっと焦げてしまったものなど、様々な焼き加減でしたが、みんなで楽しく、おいしくいただきました。



「湯の里祭り」開催

9月25日に湯の里祭りを開催しました。コロナ禍の中で昨年同様にご家族様、来賓様をお招きする事が出来ませんでした。利用者・職員ともに感染対策を十分に行った上で行いました。屋台では職員が作ったお祭り料理を自由に好きなものを食べて頂き、利用者も職員も笑顔が溢れるお祭りとなりました！

笑顔が溢れるお祭りとなりました！



緑ヶ丘ハイツ「秋の収穫祭」

以前から聞かれていた利用者からの「季節の食べ物を楽しみたい」という要望。

今回、職員からの食材の提供もあり実現しました。メニューは「イモとカボチャの塩煮」。移転以降眠っていた各フロアのIHコンロの活躍もあり、出来たてを提供できました。各々マーガリンや塩辛などいろいろな味を楽しまれ、素材の味やなつかしさに感動する声が多く聞かれ予想以上の盛り上がりを見せしていました。コロナ禍において、ご家族との面会等の制限をさせていただいている中で、少しでも利用者の皆様が楽しめる機会を作ればと思っています。



今年は各ユニットでお祭り開催 グループホームつくしんぼ

つくしんぼ絆・縁両ユニットでは、地域のお祭りがなくても各ユニットでお祭り気分を満喫しよう！

と、ハッピーなどを着用して演出しました。縁日風にくじ引きや輪投げなどで楽しみながら人形焼きや綿あめ、流しソーメン、キュウリの一本漬けなどを、次々に口に運び「おいしい」と笑顔を見せていました。



敬老会特集

「園内敬老会」緑ヶ丘老人ホーム

今年度は、105歳を筆頭に8名の方が対象でした。6名が100歳以上、2名の方が米寿。実に利用者の1割が対象者です。吉田施設長から記念品を贈呈すると会場から大きな拍手に包まれ、お祝いムードとなりました。敬老会は利用者が主役、職員の趣向をこらした余興で大盛り上がり。皆様、ご馳走に舌鼓をうちながら大いに楽しまれていました。笑う門には福来たる。いつも笑って過ごされるよう職員一同、皆様のご長寿をご祈念申し上げます。



黒松内町ディ・サービスセンター

今年、米寿を迎えられたのは6名の利用者。ご長寿おめでとうございます。

9月20日(月)からの1週間、敬老会週間として米寿の方をはじめ、皆様のご長寿をお祝いしました。吉田管理者から「お腹の底から笑うことが大切。ディサービスに笑いにこれからも来て下さい。」と、挨拶。

その言葉通り、職員余興は笑って頂けましたか？



【写真のプレゼント】

緑ヶ丘ハイツ「敬老会」

緑ヶ丘ハイツの2F副主任の神野です！9月の誕生会兼敬老会では恥ずかしながらギターを演奏させていただきました！利用者の中には涙を流す方、大きな声で歌って下さる方など大変盛り上がったものと個人的

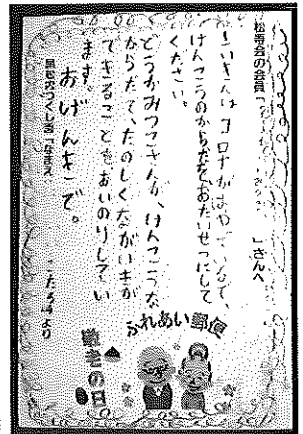
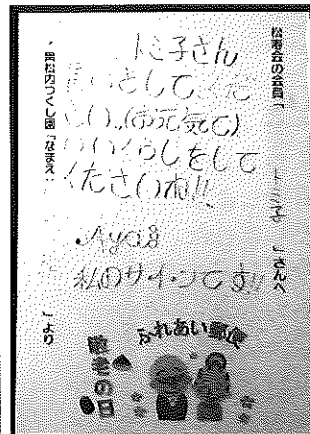
には思っております!!!
今後とも少しでも笑顔あふれる時間を提供できるように努力して参ります！



敬老の日に「ふれあい郵便」 黒松内つくし園

つくし園の小学生が町内のお年寄りにお便りを送りました。

9月20日は敬老の日です。黒松内町社会福祉協議会では敬老の日に合わせて、町内のお年寄りに子ども達からメッセージが届く、「ふれあい郵便」を行っています。毎年当園の小学生が依頼を受けてお年寄りの皆さんにお手紙を書いています。今年も小学生達が新型コロナウイルス感染への注意や長寿を願う、個性あふれる心のこもったはがきをお年寄りの皆さんに送りました。おたよりを書いた小学生は「コロナウイルスに感染しないよう気を付けて長生きしてほしいです」と話してくれました。



2021年度 法人

老人福祉施設 慶和園

9月17日、慶和園で敬老会を開催いたしました。コロナ禍の中、昨年同様、感染症対策を講じながらの開催となりましたが、会場の飾りつけや料理、余興には全職員からの感謝の気持ちを込めさせていただきました。余興ではカンボジア、ベトナムからのスタッフ4名による各国の踊りが披露され、利用者の皆さんに大変喜ばれました。

来年の敬老会ではコロナも終息し、ご家族も含めてお祝いができたら良いですね。



湯の里・黒松内「敬老会」

今年も米寿2名、卒寿4名、白寿1名、百寿1名、最長寿1名の9名のお祝いを行いました。嶋副施設長から一人ひとりにお祝いの言葉とお祝いの品を贈られました。技能実習生2名も振袖を着て敬老会の雰囲気盛り上げました。

これからも利用者に笑顔溢れる生活を送って頂けるよう、職員一同努めていきたいと思っております。



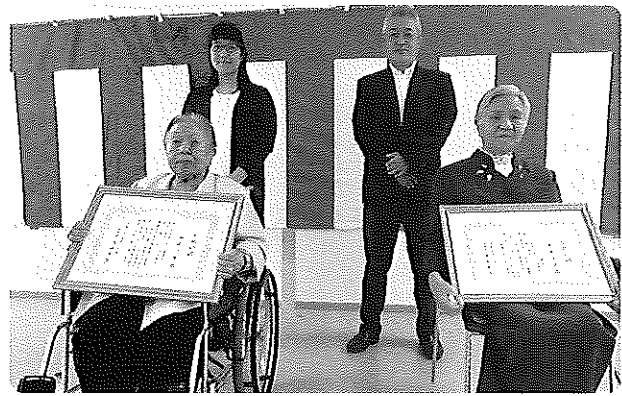
泊村老人ホームむつみ荘

昨年度同様、コロナ禍により施設全体でのお祝いの会は実施せず、各ユニット内での祝いとなりました。

百寿と米寿を迎える方に総理事長並びに泊村長からの賞状と祝い品が贈呈されました。

敬老の日の当日は、お赤飯など「敬老の日のお祝膳」が振舞われ、各ユニットで末永い健康長寿を祈念しながらお祝いしました。また、職員が丹精込めて作ったケーキでお茶会を開催し、盛況のうちに終えることができました。

新型コロナの終息を祈念しつつ、来年も利用者の皆さんが、健康で敬老の日を迎えることが出来るよう職員一同お祈り申し上げます。



今年も各ユニットで敬老会開催 グループホームつくしんぼ

今年も各ユニットに分かれて、9月15日に敬老会を開催しました。大代理事長と大迫施設長から「これからも健康で長生きして下さい」と米寿と喜寿の皆さんに花束が渡されました。食事は複合施設「喫茶陽だまり」で作ったオードブルや茶碗蒸し、フルーツの盛り合わせや、グループホーム職員手作りの海鮮丼などを美味しく味わいました。また、特定技能職員のシアク・スレイベッチさんが、カンボジアでのお祝い事に着る衣装を身に纏い、華麗なる舞も披露。入居者の皆様全員がお祝いとなった1日でした。



「厚志に心から感謝申し上げます」

(令和3年6月1日から8月31日まで)敬称は略させていただきます。また、常勤役員からの「厚志」については、お名前を控えさせていただきます。

武田宏、芹田孝雄、佐々木暁、木村清美、片桐澄子、高橋克之、黒松内つくし園後援会、広瀬忠春、黒松内郵便局、松田政敏、鈴木晶子(以上黒松内町)、藤井里美(島牧村)、金子光司(寿都町)、大迫克司(蘭越町)、小山清治、戸室ナミ(以上長万部町)、南京極郵便局、永江涼子、姉妹一同、紅寿司、サロンドシエル、(南)山板金工業所、菊地歯科医院、京極調剤薬局、京極町、慶和園利用者親睦会、藤波秀博、(株)中村組、南京極町内会、林美裕喜(以上京極町)、(有)倶知安運輸、(有)倶知安オイル、山田英男(以上倶知安町)、日本ガード(株)、あいおいニッセイ同和インシュアランスサービス、梨羽小百合(以上札幌市)

法人会務の運営状況

(2021年7~9月開催分)

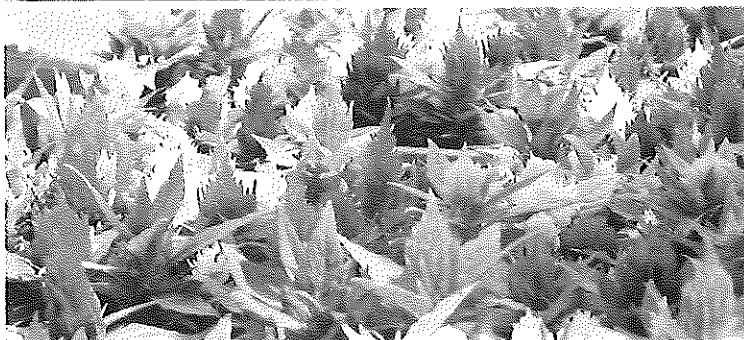
- ◆ 7月13日 施設長・副施設長会議
- ◆ 7月23~27日 内部監査
- ◆ 7月30日 監事監査
- ◆ 7月30~8月3日 資金収支ヒアリング
- ◆ 8月5日 虐待防止委員会
- ◆ 8月10日 施設長・副施設長会議
- ◆ 8月10日 苦情解決委員会
- ◆ 8月23日 第424回 理事会
- ◆ 8月25日 広報委員会
- ◆ 8月26~27日 あすの監査法人期中往査
- ◆ 8月31日 業務改善委員会
- ◆ 9月14日 施設長・副施設長会議

しりべし学園成人寮の花苗を町民に無料配布

7月2日、3日に黒松内町でしりべし学園成人寮が提供した花苗の無料配布が行われました。多くの町民が役場特設会場に訪れ、それぞれお気に入りの花を持ち帰りました。

この苗は、しりべし学園成人寮で毎年行われていた「ふれあい祭り」がコロナ禍で今年も中

止となり、目玉企画として花の無料配布を行う予定だった花苗2,000株を黒松内町フラワ―推進協議会に寄贈しました。花苗の無料配布は昨年を引き続き今年で2回目となり、マリ―ゴールドやサルビアなど色とりどりの花が、同協議会を通じて町民に配布されました。





表彰

☆北海道社会福祉協議会会長顕彰

◇社会福祉施設職員功労表彰

▽吉田剛 (緑ヶ丘ハイツ兼緑ヶ

丘老人ホーム総合施設長) ▽齊

藤陽子 (黒松内つくし園生活支

援員) ▽長谷川隆太 (緑ヶ丘ハ

イツ生活相談員) ▽斎藤康樹 (

同事務員) ▽中田めぐみ (緑ヶ

丘老人ホーム栄養士) ▽平賀由

美 (同支援員) ▽山本ふくみ (

同看護師) ▽高田光康 (黒松内

町デイ・サービスセンター相談

員) ▽矢木田功一 (湯の里・黒

松内介護員) ▽海老澤麻衣子 (

同栄養士) ▽佐藤春美 (同介護

支援専門員) ▽逢見明浩、菊地

幸代、五十嵐美佐子 (以上同介

護員)

☆小樽・後志地区社会福祉協議

会連絡協議会会長表彰

◇社会福祉施設永年勤続功労者

表彰

▽村田まゆみ (黒松内つくし園

人事

法人本部

【採用】▽鹿内智恵

黒松内つくし園

【採用】▽武田由美

緑ヶ丘老人ホーム

【退職】▽原田幹士

しりべし学園成人寮

【退職】▽小黒栄

認定こども園黒松内保育園

【採用】▽栗秋強

緑ヶ丘ハイツ

【退職】▽剣地順子

【採用】▽山田剛大

後志リハビリセンター

【退職】▽野添喜代子

湯の里・黒松内

【退職】▽成田麻美

グループホームつくしんぼ (倶知安地区)

【退職】▽明石萌▽畠山未来

慶和園

【退職】▽井上友美

ユニットケア慶和園

【退職】▽土田健太▽久慈めぐみ

泊村養護老人ホームむつみ荘

【採用】▽寺井弘美

末永くお幸せに

♡黒松内つくし園、鈴木(旧姓石崎)舞華さんが8月10日に結婚しました。

お誕生おめでとう

☆後志リハビリセンター、高橋陽祐さんに一颯(いぶき)ちゃんが誕生しました。(8月29日) ☆しりべしパークセンターセオス、佐藤郁弥さん、佳那さんに玄都(ひろと)ちゃんが誕生しました。(9月16日)

おくやみ

- ▽泊村特養むつみ荘、濱田貴子さんのご母堂 (享年87歳) 7月16日御逝去
- ▽泊村養護むつみ荘、田中佑季さんの祖父 (享年91歳) 7月31日御逝去
- ▽グループホームつくしんぼ、塩村一恵さんの義父 (享年91歳) 8月10日御逝去
- ▽泊村養護むつみ荘、佐々木博子さんの実姉 (享年67歳) 8月12日御逝去
- ▽泊村養護むつみ荘、佐々木博子さんのご母堂、緑ヶ丘ハイツ、山田まどかさんの祖母、湯の里・黒松内、山田昂さんの義祖母 (享年94歳) 8月18日御逝去
- ▽グループホームつくしんぼ、塩村一恵さんのご尊父 (享年87歳) 8月28日御逝去
- ▽黒松内保育園、エリクソン瞳さんのご尊父 (享年69歳) 9月9日御逝去
- ▽羊蹄セルブ、菊地あゆみさんのご尊父 (享年62歳) 9月17日御逝去
- ▽ユニットケア慶和園、長船裕子さんのご母堂 (享年78歳) 10月10日御逝去

黒松内保育園運動会「〜勇気りんりん〜」

今年のテーマは「勇気りんりん!!!」、失敗を恐れず勇敢に立ち向かう姿を意味しています。

緊急事態宣言を受けて、今年も園児と職員での運動会を2日間に分けて行いました。

9月から町民体育館に通い、玉入れや紅白リレー、お遊戯や綱引きなどを練習してきました。

1日目の9月15日、全クラスの入場からスタートした運動会。ぱんだ組の元気な応援団の言葉に、



みんなで「おー!!」と気合が入りました。町民体育館の端から端まで走り切ったヨーイドン、キラキラのポンポンを持って踊ったお遊戯、どの競技も笑顔がいっぱいでした。

9月17日の2日目は、ぱんだ組、こあら組、りす組の玉入れや、白熱の紅白リレーを行いました。

バトンが友達から友達へ繋がる様子や、応援し合う姿が印象的な紅白リレー、負けて悔しい様子の子もいましたが、最後は、トロフィーやメダルをもらい、やり切った満足気な表情を浮かべていました。



編集後記

暑かった夏が終わり、木々も色づいて朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。雪虫らしき虫が飛び始め、冬タイヤ購入・交換時期の心配が頭をよぎります。もうすぐ秋から長い冬が訪れます。

新型コロナウイルス感染は、東京オリンピック開催時期の第5波が9月に入り落ち着き、9月末で緊急事態宣言解除、道内でも感染者数は大きく減っています。この冬には、経口薬が認可される可能性があり、ワクチン接種率向上と合わせてようやくコロナとの戦いの出口が見えてきて一安心です。

我が国の100代目の総理大臣が誕生し、今月には衆議院選挙が行われます。コロナ対策強化とポストコロナの景気対策などに期待し、「国民の声」を本当に聞ける政治家を選びたいものです。

今年度も早や上半期が終わり、後半がスタートしています。この半年、法人・各施設でも様々な取り組みが行われ、本誌でも報告しています。また、施設の様子や行事など明るいニュースをお伝えしています。法人ホームページでは、さらに多くの情報を発信していますので、どうぞご覧下さい。

岡田



法人会報「ブナの里」第134号

発行年月日 令和3(2021)年10月10日発行
発行 者 社会福祉法人 黒松内つくし園
発行責任者 法人会報ブナの里広報委員会

社会福祉法人 黒松内つくし園

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内562番地1
電話:0136(77)2833 FAX:0136(75)7211

E-Mail: honbu1@viola.ocn.ne.jp URL:https://tsukushien.or.jp